

「北海道における外国人旅行者のドライブ観光調査（中間報告）」

平成18年9月8日
北海道開発局 建設部
道路計画課 調査第1係 畑山 朗

1

外国人ドライブ観光調査の目的

今後、個人型化が進むと予想される外国人観光客に対して、北海道ならではの観光形態であるレンタカー観光の可能性及び課題を把握し、道路をはじめとした外国人がドライブし易い環境を整えることを目的とする。

調査体制

「北海道における外国人ドライブ観光推進協議会」

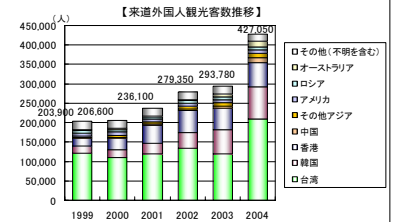
ANA香港支店、PRIME TRAVEL&TOURS(シガポール)、NTTdocomo北海道、トヨタレンタリース札幌、同新札幌、ニッポンレンタカー、札幌国際大学、マップネット、(社)北海道開発技術センター、有限責任中間法人シーニックバイウェイ支援センター、(独)土木研究所寒地土木研究所、国土交通省北海道運輸局、北海道、国土交通省北海道開発局

なお、このプロジェクトは国土交通省「まちめぐりナビプロジェクト」事業として行うものである。

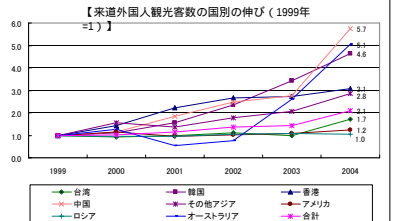
3

北海道の国際観光の近年の動向

- ・北海道を訪れる外国人観光客数は、近年増加
- ・2004年度には43万人以上の入り込み（前年度から45%増）
- ・台湾や韓国、香港など、東アジア諸国が多い



- ・国別には近年の北海道スキープームでオーストラリアの伸びが著しい
- ・その他、中国や韓国などアジア圏からの増加が大きい



資料：北海道観光入込客数調査報告書

「北海道における地域協働型外国人ドライブ観光推進調査」項目

外国人ドライブ観光での経路案内方法の検討

- 1 マップコードを活用した外国人向け英語パンフの有効性の確認
 - 2 英語音声機能を搭載したカーナビゲーションの有効性の確認
 - 3 携帯型多言語ナビゲーションの有効性確認
- G P S 携帯電話の活用
- 1 位置情報によるドライブ観光行動の把握
 - 2 位置情報に基づく地域情報の配信
- 外国人ドライブ観光向けコールセンター機能の把握
外国人ドライブ観光とシーニックバイウェイ活動団体との「地域情報発信」における連携可能性の検討

- ドライブ観光に関するニーズ、課題調査アンケートの実施

4

今年度の取り組み

年月日	取り組み内容
平成18年6月8日 ～6月17日	ブレ実証実験（自動車系）の実施 ・シンガポールドライブ観光―道央・道東方面
平成18年6月15日 ～6月22日	ブレ実証実験（自動車系）の実施 ・シンガポールドライブ観光―道央方面
平成18年7月20日 ～7月28日	実証実験（自動車系）の実施 ・シンガポールドライブ観光―道央方面
平成18年8月6日 ～8月14日	実証実験（自動車系）の実施 ・シンガポールドライブ観光―道央・道東方面
平成18年9月1日 ～9月30日	実証実験（自動車系）の実施 ・香港のFITドライブ観光
平成18年10月1日 ～10月31日	実証実験（自動車系）の実施 ・シンガポールドライブ観光

5

出発風景（2006年6月）



トヨタレンタリース札幌千歳空港店



G P S 機能付携帯電話車載状況



6

I 外国人ドライブ観光での経路案内方法の検討

1 マップコードを活用した外国人向け英語パンフの有効性の確認

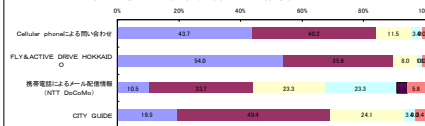


I 外国人ドライブ観光での経路案内方法の検討

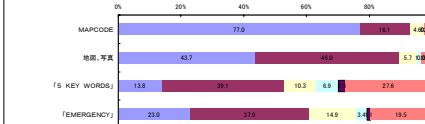
1 マップコードを活用した外国人向け英語パンフの有効性の確認

- ◆ドライブ観光の支援として提供した資料、ツール類の中ではMAPCODE入りのガイドブック「FLY & ACTIVE DRIVE HOKKAIDO」の貢献度評価が最も大きい。
- ◆ドライブ観光支援『MAP CODE』は活発に利用され、83%が「4回以上利用した」としているが、もう少し、多くの観光地のコード番号があれば良い（16%）との指摘もあり、今後の拡充が期待される。

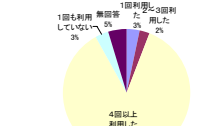
開発局などの提供資料への貢献度（N=87）



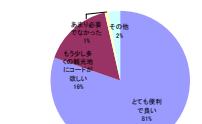
FLY & ACTIVE DRIVEについて（N=87）



MAP CODE利用状況（N=87）



【利用者のみ】MAP CODE評価（N=81）



I 外国人ドライブ観光での経路案内方法の検討

2 英語音声機能を搭載したカーナビゲーションの有効性の確認



『英語』音声を選択すると・・・



10

I 外国人ドライブ観光での経路案内方法の検討

3 携帯型多言語ナビゲーションの有効性の確認

【携帯型ナビゲーションの特徴】

- ・多言語表示のナビゲーションシステム
日本語、英語、中国語音声で対応可能。
表示はローマ字と漢字
- ・レンタカーの車内以外でも持ち歩ける。
タクシー、観光バス、徒歩、自転車等でも案内が可能なことから個人型の外国人観光客向けに有効と思われる。



【イメージ】



11
【株式会社マップネットHPより】

II GPS携帯電話の活用

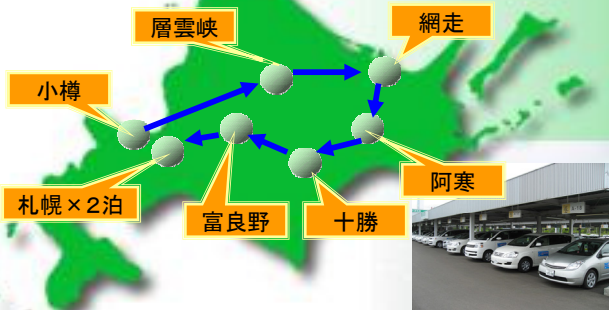
1 位置情報によるドライブ観光行動の把握

シンガポールからの旅行ツアー 第1弾

“10 Days Dramatic Hokkaido”

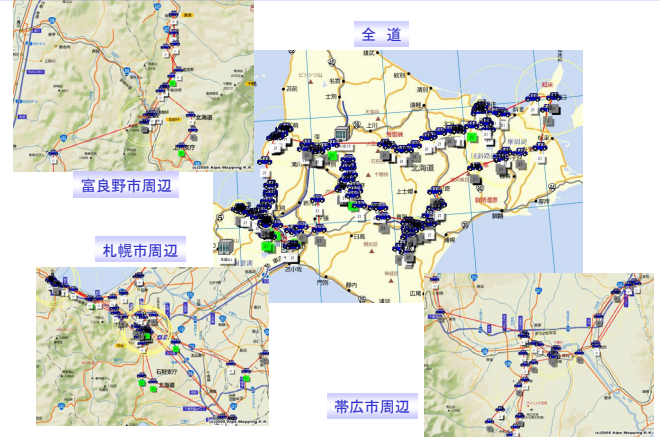
平成18年6月8日(木)～6月17日(火)の8泊10日

103名 34台 アンケート調査サンプル数:44名



II GPS携帯電話の活用

1 位置情報によるドライブ観光行動の把握



II GPS携帯電話の活用

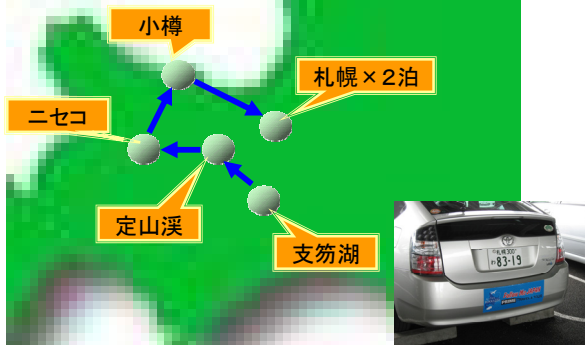
1 位置情報によるドライブ観光行動の把握

シンガポールからの旅行ツアー 第2弾

“8 Days Central Hokkaido Fly & Active Drive”

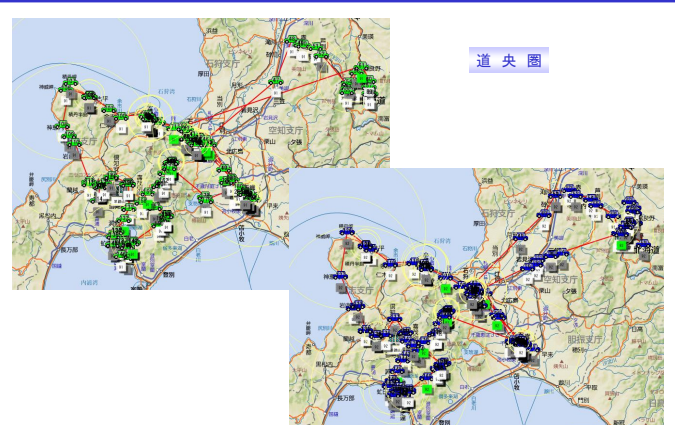
平成18年6月15日(木)～6月22日(木)の6泊8日

53名 15台 アンケート調査サンプル数:18名



II GPS携帯電話の活用

1 位置情報によるドライブ観光行動の把握



II GPS携帯電話の活用

2 位置情報に基づく地域情報の配信



位置情報に基づく地域情報の配信

位置情報に基づく誘導・コールセンター機能の検証

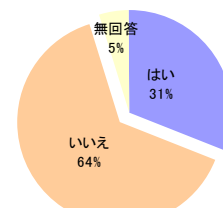
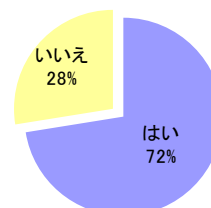
II GPS携帯電話の活用

2 位置情報に基づく地域情報の配信

- ◆ 配信メールについては、72%が「読んだ」と回答。
- ◆ メールに記載されていたWebサイトについて、「利用した」は31%にとどまった。

配信メールの利用状況 (N = 87)

メールに記載されていたWebサイトの利用状況 (N = 87)



17

Ⅲ 外国人ドライブ観光向けコールセンター機能の把握

1 位置情報に基づく誘導・コールセンター機能の検証

■固定型コールセンター 情報把握、配信



■現地対応型コールセンター 旅行会社の協力による現地での情報把握、配信



Ⅳ 外国人ドライブ観光とシーニックバイウェイ活動団体との 「地域情報発信」における連携可能性の検討



配信された情報に記載されている
マップコードを入力すると30m範囲
にカーナビゲーションが誘導してくれ
る。

G P S 携帯電話に一定エリアに
車が入るとそのエリアの情報が
配信される。

配信情報はシーニックバイウェイに
参加する活動団体から提供



19